

地方創生の「特徴的な事例」表彰

岐阜信金と飛騨信組選出

岐阜信用金庫と飛騨信用組合が、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部の2020年度の「地方創生に資する金融機関等の『特徴的

な取組事例』」に選ばれ、坂本哲志地方創生担当相から表彰を受けた。

表彰状を披露する住田裕綱理事長＝岐阜市神田町、岐阜信用金庫本部



同金庫は「コロナに打ち勝て！オール岐阜でのマスク生産」岐阜県内中小企業

によるゼロからの挑戦」を掲げ、岐阜市の繊維製品卸売業者と安八郡輪之内町の燃焼業者をつないで県産マスクの製造販売に乗り出した。県、県産業経済振興センター、岐阜新聞社などを巻き込み、医療機関への供給や一般消費者向け販売を進めて県全体のネットワ

ーク構築に貢献した。同金庫によると県内の信用金庫では初の表彰という。

同組合は「コロナ禍における電子地域通貨『さるぼぼコイン』の活用による地域消費喚起の取組」を展開した。新型コロナウイルスで打撃を受けた地域消費回復のために同コインを活用して行政機関、観光団体、飲食業者と連携。飲食物のテークアウト時に10%を還元するキャンペーンや飛騨市と協力して「市ががんばれプレミアム電子地域通貨」の取り扱いを実施した。同組合の表彰は16年度に続き2回目。

オンライン形式の表彰式が行われ、表彰を受けた全

国の44金融機関・団体が参加し、岐阜信用金庫は岐阜市の本部で表彰式の様子を公開した。住田裕綱理事長は「多くの事例の中から表彰に選んでもらい感謝している。『ぎふマスク』をさらにPRして多くの人に使ってもらえるようにしていきたい」と喜びを語った。